

各地区の活動の紹介

06/22 タッチーキャラバン2024 子育て関連分科会

今回のタッチーキャラバンは2年ぶりの開催となりました。これまで3回開催した際は、本郷小学校が会場でしたので、桜井小学校では初めての試みとなりました。

タッチーキャラバンは、「カエルキャラバン」をモチーフにした防災体験イベントです。栄区のマスコットキャラクターで、子どもたちに愛されている「タッチー君」を名称に使っています。

震災はいつくるかわかりません。いざという時にはどのような手段で、自分の身を守るかという事を少しでも体験できたらと思って、さまざまなコーナー企画を準備して開催しました。



06/23 防犯講習会 ラーバン港南台自治会

「泥棒に入られない、家、町、環境づくり」というテーマで、防犯講習会を開催しました。講演後には、元大橋交番の警察官の方に、振り込め詐欺、ネットショップ詐欺などの、最近の犯罪の傾向をお話しいただき、質疑応答を行いました。お話をうかがって、防犯の知識だけでなく、地域ぐるみの防犯意識の大切さを再認識しました。

雨天で公園の除草作業がなかったため、当初の想定よりも参加者が少なかったのですが、活発な質疑応答、意見交換が行われ、とても有意義な講演会でした。



07/27 夏祭り 鍛冶ヶ谷町内会

今年も、恒例の夏祭りを行ないました。焼きそば・唐揚げ・焼き鳥・フライドポテト・ドリンクなどの露店、輪投げ・射的・スーパーボールすくい・魚釣り・おもちゃくじ・ヨーヨー釣りなどのゲームコーナー、グループや親子での、懐かしのメロディーやジャズなど生演奏のステージと、「飲んで・食べて・見て・聞いて・参加して」大人も子どもも楽しみました。

圧巻はおよそ40本の打ち上げ花火！大歓声でした。

最後に子どもたちへのお菓子の配布と、大抽選会で幕を閉じました。

来年もお楽しみに！



10/19 「ふれあいスポーツまつり」 開催のお知らせ スポーツまつり実行委員会

昨年度は雨天で中止になった「ふれあいスポーツまつり」を、下記のように実施します。お問い合わせの上、ご参加ください。

日時：10月19日(土) 10:00~14:00
場所：本郷小学校校庭(雨天時は体育館)

10/27 「慶寿会」開催のお知らせ 本郷第三地区社会福祉協議会

第22回「慶寿会」を、昨年と同様、栄公会堂で開催します。皆様のご協力で素晴らしい演芸の部もご用意していますので、ご家族、ご友人とともに楽しいひとときをお過ごしください。

日時：10月27日(日) 13:30~16:00
場所：栄公会堂講堂

広報分科会：杉浦敏昭 本池弘一 坂本友子 原 栞 荒井文夫
 霜山雅也 清水克彦 中山陽一 末村信子 関戸篤志
 新沼恵美 山田直樹 和田和子

協力：栄区社会福祉協議会 中野地域ケアプラザ

連絡先：中野地域ケアプラザ
 (担当：遠山 TEL 045-896-0711 FAX 045-896-0713)

支えあいネットワーク
ホームページ

「本三ネット」
で検索
<https://honsan-net.com/>

累計訪問人数 726人 (4~7月)

本郷第三地区支えあいネットワーク広報誌

本三みらい

【発行者】
本郷第三地区
支えあいネットワーク
代表 渡邊 すみ江

51

栄区では、誰もが安心して暮らせるまちの実現にむけて、身近な地域の支えあい・見守りあいの仕組みづくりを進める「第4期 栄区地域福祉保健計画」を令和3年度から実施しています。

これを受けて、本郷第三地区支えあいネットワークでは、「顔の見えるまちづくり～お互いの配慮によって支えあおう～」をスローガンに掲げて、組織・団体が連携して活動しています。

特集記事 町内会・自治会を考える

特集記事のねらい

2023年度で「ローレルスクエア港南台自治会」が解散いたしました。町内会・自治会は、「顔の見えるまちづくり」を実現するための地域活動の中心となっている組織であり、その弱体化は支えあいネットワークの活動に大きな影響を与えます。解散に至った経緯や、そこにあった問題点は、支えあいネットワーク全体の課題と考えられます。

広報分科会では、町内会・自治会の現状と課題を地域の皆さまと共有し、解決策を考えるひとつのきっかけとして、特集記事としてこの問題を取り上げていきたいと考えました。まずはじめに、8人の会長さんにアンケートを実施しましたので、結果をご報告します。

アンケート結果の紹介

町内会・自治会への加入率
 本郷第三地区：58.4% (4,234/7,249)
 栄区全体：74.8% (88団体)
 (栄区連合町内会ガイドブックより)

町内会・自治会の現状について (回答人数) 存続の危機について

- 強く感じている・・・3人/8人
- 感じている・・・3人/8人

危機の要因

- 会員の高齢化・担い手の減少
- 会員増加策
- 力を入れている・・・2人/8人
- 実施はしている・・・2人/8人
- 実施していない・・・3人/8人



自治会解散の経緯

ローレルスクエア港南台自治会
2023年度会長 和田 和子

自治会町内会は、その地域の住民が安心して暮らせるよう、安全な住環境を互いに作り合うための核になる組織と考えています。安全な住環境作りの一つに、ご近所の方々と顔見知りになり、緩やかにつながることがあります。その場作りの企画～実施は大切な活動で、活動主体を自治会町内会の役員が担うことが多いのですが、主体となり計画・準備・実施などに時間を取られたいと、会の役員になることを拒否される人が増えてきました。そして、会からの脱退者も増えました。

会では役員負担軽減を目的に、本来行うべき住民同士の関係作りの場を極力減らした結果、

会の存在意義もなくなり、その結果、解散に至ったというのが大まかな経緯となります。

解散して良かったことは、今のところ個人的には日常生活に大きな変化は感じていません。

解散して困ったこととしては、行政関係の手続きを管理組合理事会に引き継ぐのですが、なかなか段取りを理解してもらいにくいことです。

後悔したことは、団体交渉の核がなくなったことです。行政に要望したいことができた場合の対応を住民各自が行っていくことになるのは大変な労力が必要だと思います。具体的には、今、港南台駅近くの南部病院跡地活用について港南区の連合町内会と本郷第三連合町内会で要望書を連名で提出していますが、それに関して意見があっても意見を提起するルートがなくなったことがあげられます。



本郷第三連合町内会 町内会・自治会の今



50音順